



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月7日

上場会社名 リバーエレテック株式会社
コード番号 6666 URL <https://www.river-ele.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萩原 義久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 天野 伸幸

TEL 0551 - 22 - 1211

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,036	5.0	103		82		120	
2024年3月期第3四半期	4,249	26.7	84	92.4	108	91.0	87	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 60百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 88百万円 (91.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	14.61	
2024年3月期第3四半期	10.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	10,468	4,305	41.1	523.17
2024年3月期	10,179	4,448	43.7	540.47

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,305百万円 2024年3月期 4,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		5.00		5.00	10.00
2025年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.5	77		88		85		10.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	8,692,652 株	2024年3月期	8,692,652 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	462,686 株	2024年3月期	462,598 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	8,230,019 株	2024年3月期3Q	8,417,599 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、緩やかな回復基調が期待されていますが、地政学リスクへの警戒感に加え、米国新政権の政策動向や中国経済の停滞など、景気減速への懸念が依然として続いております。

このような状況のもと、当社グループではコア事業である音叉型水晶振動子のシェア拡大によるさらなる経営基盤の強化、新規事業戦略においては、次世代ICT社会への貢献が期待されるKoTカットデバイスの量産化技術の確立とマーケティング強化による収益性の向上に努めました。ATカット水晶デバイスにおいては、注力市場に掲げているモビリティ市場向けに新規生産ラインの立ち上げを実施したほか、今後の医療ヘルスケア、IoT市場を見据えて、0806サイズのATカット水晶振動子を開発しました。当社の独創的技術であるMDS（固相拡散接合によるウェハレベル真空パッケージ封止）を用いた製品としては世界最小となります。

この結果、販売面におきましては、車載及び医療ヘルスケア向けが前年同期を上回ったほか、為替の円安効果もありましたが、スマートフォン向け受注の伸び悩みや在庫調整の影響等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,036,705千円（前年同期比5.0%減）の減収となりました。

利益面におきましては、減収の影響や新製品開発に伴う研究開発費及び新規生産ラインの立ち上げに伴う減価償却費の増加から営業利益は103,493千円の損失（前年同期は84,008千円の営業利益）、経常利益は82,958千円の損失（前年同期は108,377千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120,270千円の損失（前年同期は87,709千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては、報告セグメントを従来の「水晶製品事業」及び「その他の電子部品事業」の2区分から、「水晶製品事業」の単一セグメントに変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等の注記）」の「（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金の増加174,903千円、仕掛品の減少81,581千円、建設仮勘定133,029千円の増加等により、前連結会計年度末から289,789千円増加し、10,468,790千円となりました。

負債合計は、短期借入金の増加147,126千円、設備関係支払手形の増加120,920千円、設備関係電子記録債務の減少188,366千円、長期借入金386,748千円の増加等により、前連結会計年度末から432,165千円増加し、6,163,088千円となりました。

純資産合計は、利益剰余金202,570千円の減少等により、前連結会計年度末から142,376千円減少し、4,305,701千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は148,621千円（前年同期は739,364千円の獲得）となりました。これは主に減価償却費455,870千円、売上債権の増加178,043千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は737,582千円（前年同期は477,866千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出878,947千円、定期預金の払戻による収入861,431千円、有形固定資産の取得による支出694,944千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は494,896千円（前年同期は150,305千円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,400,000千円、長期借入金の返済による支出947,628千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期連結業績予想につきましては、2024年11月8日の「業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,765,968	2,721,295
受取手形及び売掛金	868,271	1,043,175
電子記録債権	7,242	9,012
商品及び製品	254,219	326,023
仕掛品	717,745	636,163
原材料及び貯蔵品	967,335	1,036,844
その他	468,046	356,056
貸倒引当金	△27,010	△27,002
流動資産合計	6,021,818	6,101,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	610,219	679,633
機械装置及び運搬具(純額)	1,970,069	1,991,915
工具、器具及び備品(純額)	128,725	124,590
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	108,797	102,896
建設仮勘定	629,623	762,653
有形固定資産合計	3,862,864	4,077,119
無形固定資産		
ソフトウェア	4,553	24,531
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	14,019	33,997
投資その他の資産		
投資有価証券	123,247	150,901
繰延税金資産	49,985	16,231
その他	107,066	88,972
投資その他の資産合計	280,299	256,105
固定資産合計	4,157,183	4,367,221
資産合計	10,179,001	10,468,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,913	268,288
電子記録債務	84,324	72,115
短期借入金	457,662	604,789
1年内返済予定の長期借入金	1,237,827	1,303,451
未払法人税等	9,514	16,257
賞与引当金	144,057	65,309
役員賞与引当金	7,812	5,859
設備関係支払手形	48,402	169,322
設備関係電子記録債務	263,553	75,186
その他	514,830	448,283
流動負債合計	2,990,897	3,028,862
固定負債		
長期借入金	2,200,294	2,587,042
長期未払金	-	1,600
繰延税金負債	47	786
役員退職慰労引当金	140,760	147,340
退職給付に係る負債	306,384	317,143
その他	92,538	80,314
固定負債合計	2,740,025	3,134,226
負債合計	5,730,923	6,163,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,829	1,681,829
資本剰余金	643,845	643,845
利益剰余金	2,168,954	1,966,384
自己株式	△250,306	△250,345
株主資本合計	4,244,323	4,041,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,523	50,039
為替換算調整勘定	171,232	213,948
その他の包括利益累計額合計	203,755	263,987
純資産合計	4,448,078	4,305,701
負債純資産合計	10,179,001	10,468,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,249,745	4,036,705
売上原価	3,209,208	3,129,849
売上総利益	1,040,536	906,856
販売費及び一般管理費	956,528	1,010,350
営業利益又は営業損失(△)	84,008	△103,493
営業外収益		
受取利息	16,421	24,304
受取配当金	2,604	3,361
為替差益	35,940	16,686
その他	13,421	13,263
営業外収益合計	68,388	57,615
営業外費用		
支払利息	35,329	35,830
自己株式取得費用	6,642	-
その他	2,047	1,250
営業外費用合計	44,019	37,080
経常利益又は経常損失(△)	108,377	△82,958
特別損失		
固定資産除却損	22,612	0
固定資産売却損	2	-
退職特別加算金	33,697	-
特別損失合計	56,313	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,064	△82,958
法人税、住民税及び事業税	9,864	10,343
法人税等調整額	129,909	26,968
法人税等合計	139,774	37,311
四半期純損失(△)	△87,709	△120,270
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△87,709	△120,270

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△87,709	△120,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,878	17,516
為替換算調整勘定	160,516	42,716
その他の包括利益合計	176,394	60,232
四半期包括利益	88,685	△60,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,685	△60,037

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,064	△82,958
減価償却費	420,714	455,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	140	△145
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,464	△78,748
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,319	△1,953
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,860	8,180
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,598	10,758
受取利息及び受取配当金	△19,026	△27,665
支払利息	35,329	35,830
為替差損益(△は益)	△34,060	△3,240
有形固定資産売却損益(△は益)	2	-
有形固定資産除却損	22,612	0
退職特別加算金	33,697	-
自己株式取得費用	6,642	-
売上債権の増減額(△は増加)	64,323	△178,043
棚卸資産の増減額(△は増加)	△49,944	△57,275
仕入債務の増減額(△は減少)	153,442	36,649
未収入金の増減額(△は増加)	464	△642
未払金の増減額(△は減少)	△8,126	1,245
前受金の増減額(△は減少)	△7,063	23
未収消費税等の増減額(△は増加)	124,910	59,869
その他	26,067	△43,637
小計	803,865	134,116
利息及び配当金の受取額	19,023	27,574
利息の支払額	△31,994	△36,076
法人税等の支払額	△97,159	△9,167
法人税等の還付額	45,629	32,173
営業活動によるキャッシュ・フロー	739,364	148,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△765,561	△878,947
定期預金の払戻による収入	817,742	861,431
有形固定資産の取得による支出	△521,893	△694,944
有形固定資産の除却による支出	△2,070	-
有形固定資産の売却による収入	302	-
無形固定資産の取得による支出	△1,534	△22,616
投資有価証券の取得による支出	△4,701	△2,595
その他	△150	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477,866	△737,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△45,743	147,126
長期借入れによる収入	1,300,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△728,144	△947,628
リース債務の返済による支出	△17,971	△22,262
自己株式の取得による支出	△247,644	△38
配当金の支払額	△110,190	△82,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	150,305	494,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	115,147	28,811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	526,950	△65,252
現金及び現金同等物の期首残高	1,826,363	2,012,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,353,314	1,947,076

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

当社グループは、水晶製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「水晶製品事業」及び「その他の電子部品事業」の2区分から、「水晶製品事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、前連結会計年度において、経営資源の最適配分と経営の効率化を目的として、連結子会社であるRiver Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd. の解散に伴い、抵抗器等を含む「その他の電子部品事業」の量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントを単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により、当社グループは「水晶製品事業」の単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。